

新制度にむけ 丁寧な説明と提案を



組合長理事
安達 敏興

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

NOSAI事業につきましても、日ごろ皆様から格別なご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は、7月の集中豪雨や度重なる台風の襲来等、全国各地で自然災害が発生し、農業生産におけるNOSAI制度の重要性を改めて実感しております。

また、本年の秋には、収入保険制度の加入申し込みが開始され、来年からいよいよ収入保険と改正農業災害補償制度がスタートします。この2つの制度は、より幅広い農業形態をカバーする新たなセーフティネットの形であります。

組合員の皆様へは、経営形態や事業規模等を踏まえ、経営リスクに応じた補償方式を、丁寧に提案させていただきながら、関係機関・団体と設立した「収入保険制度等推進連絡会」を通じて、無保険農家を出さないように全力で取り組んで参ります。

さて、当組合を除く県下5組合は、平成30年4月の広域合併を目指しております。

NOSAI中越としては、1県1組合化に決して反対ではありませんが、農業保険制度の大改革と、合併が重なることで、制度の周知に支障が出ないかといった懸念と、組合員との接点の要である損害防止事業の存続が検討されなかったこと等が理由で、今回は見送りを決めました。

今後、合併の協議が再開されても、組合員の目線に立って協議を進めて参りたいと思っておりますので、ご理解をお願いします。

最後に、組合員各位の益々のご繁栄をご祈念申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます、年頭のあいさついたします。